

美術科 7年生 題材名『響き合う形と色』 授業実践・授業研修	
日時	5月14日(水)5時間目
授業者	角 彩乃
本時のねらい	「動物の謝肉祭『ピアニスト』『化石』『白鳥』を聴いて、メロディーや曲調、テンポなどから形や色、構成などを創造し、他者の描く線などを参考にしながら、試行錯誤して抽象画を描くことができる。
単元・題材計画	第1次 音楽を聴いて表現した作品の鑑賞と表現……………1時間(本時) 第2次 アイデアスケッチを基にした抽象画の製作……………2時間 第3次 完成した作品の相互鑑賞と対話……………1時間
授業の実際 (本時の流れ)	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教師が音楽を基に描いた3つの抽象画を鑑賞し、どの音楽を聴きながら描いたものか考える。 (2) 本時の学習課題を設定する。 「『動物の謝肉祭『ピアニスト』『化石』『白鳥』を聴いて、それを表現できる形や色を見つけよう。』」 (3) 抽象画に表す前に、音楽の特徴を書き出す。 (4) 実際に音楽を聴きながら抽象画を描く。 (5) 本時の学習をまとめ、振り返りを記入する。
事後協議の概要	聴いた音楽を基に、多く生徒が抽象画を描くことができた。しかし、音楽の題名を提示することによって、イメージがひっぱられやすくなることや、3枚抽象画を描くという作業量の多さなど、検討しなければならない課題も挙げられる。また、表現する際に色・形・構成など、考える要素が多いため、色は3色までにするなど、表現の幅をあえて狭めることも有効な手立てになるのではないかと考えられる。